

科目名	アジア美術					単位	2.0
担当教員	中川原 育子						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2309

●授業のテーマ

楽園イメージの図像学—海獣葡萄鏡の諸図像の分析を通して

●到達目標

海獣葡萄鏡にあらわされた様々な図像の分析を通して、図像生成のプロセス、図像伝播の様相を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

楽園イメージは平和と繁栄に満ちた崇高なる世界を表したもので、様々な文化圏、宗教の中で、多様な造形を生み出した。海獣葡萄鏡は、中国で制作された銅製の鏡で、その中に西方世界の楽園イメージに由来する葡萄唐草文と動物、人物などを表している。

この講義では、石渡美江氏『楽園の図像—海獣葡萄鏡の誕生』をテキストとして、海獣葡萄鏡の中に描かれる様々な図像モチーフの分析を通して、図像生成のプロセスを明らかにし、地中海世界、西アジア、中央アジア、中国と広い地域にまたがってどのように図像が伝播していったのかを考察する。

●学習内容(授業計画)

1. イントロダクション—石渡美江『楽園の図像—海獣葡萄鏡の誕生』について
2. 海獣葡萄鏡とは
3. 楽園と葡萄
4. 葡萄唐草文—海獣葡萄鏡以前
5. ギリシア、ローマ周辺の葡萄唐草文
6. 西アジアの葡萄唐草文
7. 中央アジア及びインドの葡萄唐草文
8. 中国の葡萄唐草文
9. 葡萄栽培とワイン醸造（1） 地中海沿岸
10. 葡萄栽培とワイン醸造（2） 西アジアと中央アジア
11. ディオニュソス信仰と豊穡イメージとしての葡萄
12. 葡萄唐草文のなかの動物たち
13. 海獣葡萄鏡の動物たち
14. 庭園と楽園の図像
15. まとめ 海獣葡萄鏡図像の誕生

●準備学習・事後学習の内容

学習の習熟度の確認と事前準備のため、毎回課題を課す。

●成績評価方法・基準

平常点（30%）、講義中に出す課題（30%）、学期末試験（40%）

●テキスト（必携）

なし。授業時に資料、およびレジュメを配布する。

●参考文献／その他

石渡美江『楽園の図像—海獣葡萄鏡の誕生（歴史文化ライブラリー）』吉川弘文館、2000

『世界美術大全集 東洋編 15 中央アジア』小学館、1999

『世界美術大全集 東洋編 16 西アジア』小学館、2000

ジルベール・ガリエ『ワインの文化史』筑摩書房 2004

石田幹之助『長安の春』（講談社学術文庫 403）1979

●履修上の注意

部屋を暗くして作品を映写するので、睡魔に襲われることがないように。

授業期間中に行う小レポートも定期試験と同じぐらい重視するので必ず

提出すること。出席点がわりに毎回授業への感想、質問を提出してもらおう。